

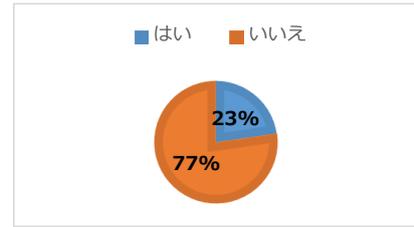
訪問看護ステーションにおける新型コロナウイルス感染症に関するアンケート

1 利用者及び家族に新型コロナウイルス感染症（疑い含む）が発症した

はい いいえ

回答 5 17

\*発症（疑い含む）数 6件 （1事業所では1~3件）

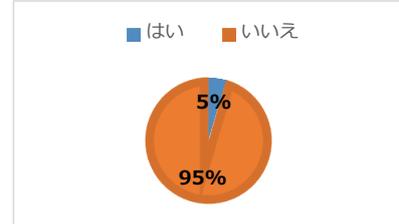


2 利用者及び家族が新型コロナウイルス感染症濃厚接触者になった

はい いいえ

回答 1 21

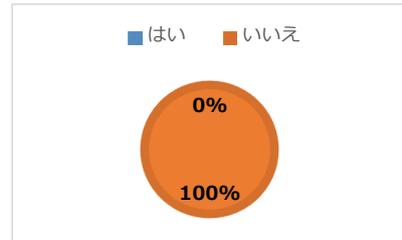
\*濃厚接触者数 1件



4 スタッフが新型コロナウイルス感染症濃厚接触者になった

はい いいえ

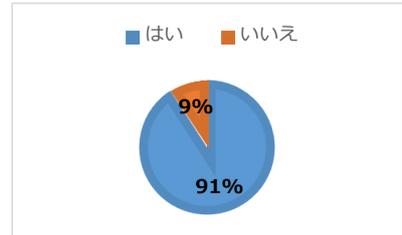
回答 0 22



5 利用者及び家族、スタッフに感染者または濃厚接触者が出た場合の対応の取り決めに定めている

はい いいえ

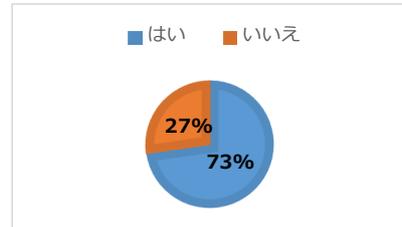
回答 20 2



6 近隣の施設との情報共有・連携をしている

はい いいえ

回答 16 6



7 行政・多職種と情報共有・連携している

はい いいえ

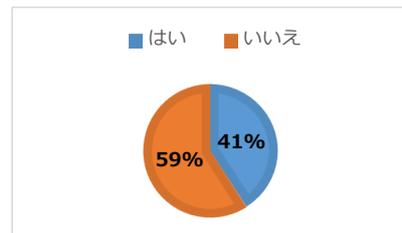
回答 17 5



8 休業した場合の利用者を引き受ける事業所を決めている

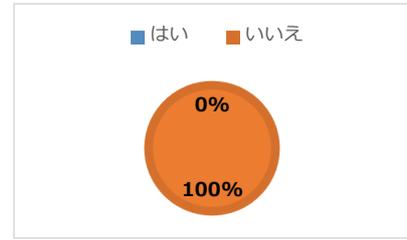
はい いいえ

回答 9 13



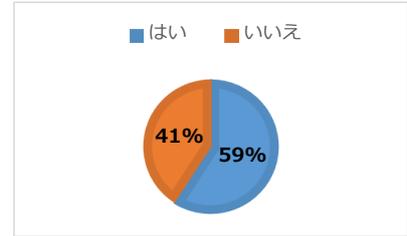
9 休業やスタッフ不足により利用者を他の事業所に引き受けてもらった

はい いいえ  
回答 0 22



10 業務に必要な感染防具が不足している

はい いいえ  
回答 13 9

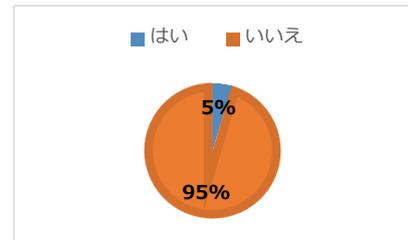


記述	・アルコール消毒液	×	2
	・アルコール綿	×	1
	・感染予防の防護服	×	8
	・ビニール手袋、ゴム手袋	×	5
	・マスク	×	7
	・N95マスク	×	2
	・フェイスシールド	×	2
	・ゴーグル	×	1
	・体温計	×	1

\* カツパやビニールエプロンで代用

11 新規の利用をやむを得ず断ったケースがある

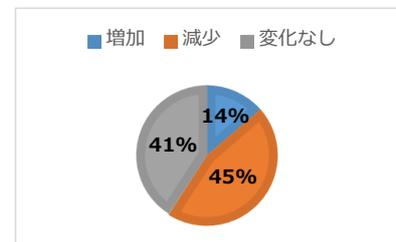
はい いいえ  
回答 1 21



12 新型コロナウイルス感染症関連で訪問回数に全体的に変化があった

増加 減少 変化なし  
回答 3 10 9

\* 減少数24件（1事業所では1～10件）



13 12の設問で増加、もしくは減少した理由

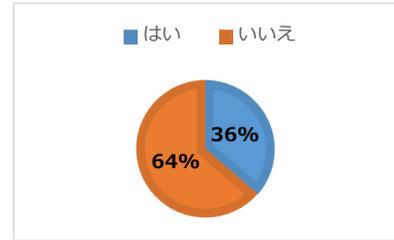
減少	・利用者・家族から利用休止の希望（訪問への不安）	×	10
	・スタッフが濃厚接触者疑いだったため自宅待機せざるをえなくなったため	×	1
	・デイサービス減少によりショートステイ利用となったため	×	1
	・施設入所者への訪問看護を行っていたが外部からの立ち入り禁止となった	×	1
増加	・入院中のターミナルの患者が面会できないことに困り退院	×	1
	・デイサービス休止のため訪問看護を依頼された	×	1

14 電話による支援を行った

はい いいえ

回答 8 14

\* 電話支援数70~80件（1事業所では1~30件）



15 新型コロナウイルス感染症関連行政及び多職種連携に関する要望

- ・行政には優先的に感染予防物品や体温計など購入できるようにしてほしい
- ・多職種連携では肺炎の疑いで入院した人の検査結果を教えてください。個人情報といわれPCR検査結果すら教えてもらえない
- ・コロナウイルス感染症の発生状況の情報共有（施設、病院、利用者の体調（発症や隔離）、感染防止の程度や範囲）
- ・在宅を支える医療現場への給付がない。今後自粛で在宅でいる方が感染している場合の濃厚接触した時の加算や危険手当的な報酬があってもいいのではないかと感じた
- ・介護家族より、自分がコロナ感染者になった場合、濃厚接触者となる利用者本人をどうしたらいいのか、入院させてくれる病院はあるのか、1人では生活できないためそんな時どこに相談したら対応してくれるのかの相談が多くあった
- ・感染症対策に四苦八苦している現状で新たな情報や対応方法が迅速かつ正確に届いてほしい
- ・訪問看護師内では情報共有できるが、ほかの職種の情報が入らない
- ・北区内訪問看護のフォロー体制についてMCSだけではなくWEB会議が出来れば。
- ・行政の最新情報を発信してほしい
- ・退院前カンファレンスをなるべくしてほしい
- ・在宅での感染予防対策など情報が少なすぎた
- ・ターミナル患者が入院し面会制限による精神的な憔悴、体力の低下が見られた。
- ・